

第 40 期第 12 回理事会議事録

日時：2019 年 9 月 19 日（木） 13 時 30 分～16 時 30 分

会場：気象庁（東京都千代田区）内日本気象学会事務室

出席理事： 岩崎俊樹，瀬上哲秀，青柳曉典，氏家将志，新保明彦，平松信昭， 以上 6 名

Web 会議システムを通じた出席理事：榎本 剛，小池 真，佐藤 薫，佐藤正樹，塩谷雅人，
坪木和久，仲江川敏之，渡部雅浩 以上，8 名

（理事数現在 20 名）

出席監事： なし

その他の出席者： 勝山 税，志村 隆，横手嘉二（事務局）， 以上 3 名

議 題

1. 協議事項

1) 第 40 期第 11 回理事会議事録の確認

議事録案について，軽微な修正の後，全会一致で承認した。

2) 会員の新規加入等について

新入会 54，退会 95 を全会一致で承認した。2019 年 9 月 13 日現在，会員数 3,383 名で
個人会員は 3,170 名。

3) 謝金支給内規の制定について

内閣府公益認定等委員会による立入検査（2017 年 1 月 23 日実施済み）での指摘事項への
対応として，謝金支給に関する内規案が瀬上副理事長から提示され，理事会はこれを全会
一致で承認した。内規では，講演謝金に対する謝金は 5,000 円を基本としつつ，付随する執
筆等を考慮して上限を設定する。また，別途謝金が必要と認められる場合は，支給の必要性
および支給額を理事会が判断し決定する。

4) 基本財産の処分について

2018 年度財産目録に計上している、「基本財産 定期預金 大和ネクスト銀行 1,920,000
円」が 2019 年 9 月末で満期となる。当該基本財産を処分し運用財産として利用することに
ついて，公益社団法人日本気象学会定款第 38 条第 2 項に基づき，会計担当理事から理事会
に諮った。理事会はこれを全会一致で承認した。

5) 選挙管理委員長の選任と第 41 期理事候補者の定数について

岩崎理事長より，第 41 期役員候補者選挙管理委員会委員長を室井ちあし会員（気象庁予
報部）に委嘱すること，及び選挙で選ぶ理事候補者数を 17 とすることが提案され，理事会
はともに全会一致で承認した。

6) 公益社団法人日本気象学会北海道支部規約の改正について

北海道支部より，日本気象学会北海道支部規約の改正について提案され，理事会はこれを
全会一致で承認した。

2. 報告事項

1)業務執行理事の報告

副理事長・・・内閣府公益認定等委員会による立入検査が2019年11月28日に実施される
ことが報告された。

庶務・・・以下の内容が報告された。

・転載許可

①申請者：神戸大学出版会

転載元：天気，50巻8号，631(2003)，日本の諸都市における人口とヒートアイランド強度の関係 第8図

転載先：都市環境計画 ヒートアイランド対策に配慮した都市づくり

②申請者：(株)日本入試センター

転載元：日本気象学会編「気象科学事典」(1988.10.2)，466P，藤田スケール

転載先：理科6年 冬期講習入試実戦演習01MU」(2019.12 発行予定)

・後援名義等使用依頼受付

①名称：第26回風工学シンポジウム

主催：風工学シンポジウム運営委員会

期日：2020年11月30日～12月2日

場所：(東京都内を予定)

名義：共催

②名称：日本ヒートアイランド学会 第14回全国大会

主催：日本ヒートアイランド学会

期日：2019年9月20日～22日

場所：東京大学 柏キャンパス

名義：協賛

③名称：第20回こどものためのジオ・カーニバル

主催：こどものためのジオ・カーニバル企画委員会

期日：2019年11月2日，3日

場所：大阪市立科学館

④名称：JASIS 2019(Japan Analytical & Scientific Instruments Show)

主催：一般社団法人日本分析機器工業会，一般社団法人日本科学機器協会

期日：2019年9月4日～6日

場所：幕張メッセ国際展示場

名義：後援

⑤名称：No.19-364 講習会 混相流入門：実験・数値計算の基礎から実例まで

主催：一般社団法人日本機械学会

期日：2019年11月15日

場所：一般社団法人日本機械学会 第1・2会議室

名義：協賛

- ・ 寄附者リスト (2019.5.14~2019.9.17)

山崎哲会員.

会計・・・以下の内容が報告された.

- ・ 2019年6,7,8月分の収支及び現預金検査報告.

2)委員会報告

講演企画・・・以下の内容が報告された.

- ・ 日本気象学会 2019年秋季大会の講演申し込み状況.
- ・ 日本気象学会 2020年春季大会を2020年5月19日~23日の5日間の開催とし、最初の4日間をカルッツかわさき、最終日を気象庁講堂で開催する予定. 今後、大会4日目午後に予定している公開気象講演会について、教育・普及委員会とともに川崎市の共催の可能性について今後調整していく予定.
- ・ 地球惑星科学連合 (JpGU) 2020年大会について、同連合会長から岩崎理事長に対し同大会における英語によるセッションの提案の依頼が行われた. また、日本気象学会から同大会のプログラム委員として、講演企画委員会の竹見理事と安成委員を推薦した.

天気編集・・・以下の内容が報告された.

- ・ Vol.66 No.8 (2019年8月)の掲載記事と、Vol. 66 No.9, 10, 11 (2019年9, 10, 11月)の掲載予定記事.

気象集誌編集・・・以下の内容が報告された.

- ・ 経費削減を目的に気象集誌のオンデマンド印刷の用紙を現行のマット紙から上質紙に変更することを検討しており、これについて理事会に意見照会した. 上質紙に変更することで、1号あたり約30万円の経費削減が見込まれる一方、色合いの経年劣化が懸念される. 気象集誌編集委員会内では、印刷物を長期保存するという観点から紙の品質を下げるのは適当でなく、他の方策として、白黒印刷をオプションに含めるという意見も挙げられている. 理事会内では、上質紙での印刷物の経年劣化は大きな問題にならない程度ではという意見が複数挙げられた. 引き続き気象集誌編集委員会で検討を進めることとなった.
- ・ 論文査読状況.

SOLA 編集・・・以下の内容が報告(書面)された.

- ・ 論文の投稿状況.
- ・ 倫理規定、査読プロセスなどをより明文化した、著者ガイドの改訂を8月1日、27日に実施した.
- ・ オープンアクセス学術誌要覧(Directory of Open Access Journals, DOAJ)への SOLA の掲載を再申請した. 申請は9月3日に受理され、SOLA が DOAJ に掲載された.

表彰関連・・・以下の内容が報告された.

- ・ 今年度、ある一つの表彰に関する推薦委員会において、1名の被推薦者について審査されない事案が発生したことについて報告された. 再発防止に向けた今後の対応策を検

討し、お詫びとともに対応策について天気に掲載することとした。

学術・・・以下の内容が報告された。

- ・第 24 期学術の大型研究計画に関するマスタープラン(マスタープラン 2020)「学術大型研究計画」に気象学会から提案している「航空機観測による気候・地球システム科学研究の推進」に対して、気象庁からサポートレター発出をお願いする公文書を、2019年8月26日岩崎理事長名で気象庁長官宛てに発出した。2019年9月9日に、気象学会の研究計画提案をサポートする旨が記載された、気象庁長官名の公文書を受領した。

気象災害・・・以下の内容が報告された。

- ・気象災害委員会・メソ気象研究会合同研究会を秋季大会前日の2019年10月27日に九州大学西新プラザで開催予定。テーマは「フェーズドアレイレーダーによる気象災害研究の新展開」。
- ・日本学術会議防災学術連携体等が主催するシンポジウムが2019年10月19日に名古屋市で開催予定。テーマは「あなたが知りたい防災科学の最前線ー激化する気象災害に備えるー」。日本気象学会から坪木理事が講演を行う。

教育と普及・・・以下の内容が報告された。

- ・今年度の夏季大学(2019年8月3日～4日)、女子中高生夏の学校(同8月9日～11日)、気象サイエンスカフェ in さいたま(同8月7日)の実施について報告。
- ・日本気象学会2020年春季大会時のジュニアセッションについて、2020年5月23日(大会最終日)に実施する方針で調整している。
- ・先生のための気象教育セミナーを、2020年1月5日に開催する予定。テーマは過去のアンケートで希望が多かった「防災教育」とし、今後講師候補を調整する。

電子情報・・・以下の内容が報告された。

- ・学会サイトで使用しているソフトウェアのアップデート、会員サイトのセキュリティ対策、役員選挙でのオンライン化等について技術的な検討を進めている。

人材育成・男女共同参画・・・以下の内容が報告された。

- ・秋季大会期間中の10月29日に「無意識のバイアス」をテーマにWLB(ワークライフバランス)を考える会・女性会員の集いを開催する。9月中にメール等で周知し、申込受付を開始する予定。

2019年10月28日

公益社団法人日本気象学会

理事長 岩崎俊樹